



特許出願の分野別登録数の多さや、高い特許査定率を誇るISEKIグループ、AIやロボット等の最新テクノロジーを搭載した「スマート農機」やデータを活用した「スマート農業」とよばれる最新技術は多方面から注目を集めており、技術開発の面で業界のリーディングカンパニーとして知られる。



**株式会社ISEKI Japan 中四国カンパニー**

東広島市西条町御園字727-2(本社)

☎082-423-9881

(受付時間8:30-17:00)

<https://www.iseki-japan.co.jp>



- こんな事業: 農業機械の販売及び関連商品の販売、アフターサービスの実施
- こんな職種: 営業職(担当顧客への農業機械の提案、納品、その他要望への対応)、技術職(農業機械の修理、メンテナンスの実施)
- 主な勤務地: 東広島市、広島市他中四国9県内の各拠点 ※希望地への配慮を優先

「ISEKI Japan中四国カンパニー」先輩社員に聞いてみました



**入社5年目  
O先輩 営業職**

自然が好きだったこと、農家さんを応援したいという気持ちから、この会社を志望しました。

**学生時代の自分に伝えたいこと**

一日一日を、大切に過ごしてほしいです。わりと時間を大事に使っていた方だとは思いますが、社会人として会社で働き始めたら、海で遊ぶにも釣りをするにも、やっぱり趣味の時間や休みが限られる。だから、学ぶときはしっかりと学んで、楽しむところはしっかりと楽しんで、と言いたいです。

— **どんな仕事をしていますか？**

「地域の農家さん宅へ訪問し、新しい農機の紹介をしたり、買い替えの相談を受けたりします。機械の修理・メンテナンスも担当するので営業職ですが、技術職のような部分もあります。多い日で一日20軒ほどを回っています。農繁期である4・5月、そして9・10月は、僕の仕事も忙しくなり、残業や緊急対応なども発生します」

— **社会人生活は、高校生の頃に想像していた通りですか？**

「機械の性能や農業のことなど、覚えることがたくさんあり、仕事以外の時間にも本を読んだりして一生懸命勉強しました。そういう姿を先輩がちゃんと見ていてくれるし、質問もしやすいのでありがたいです。未経験からのスタートでしたが、研修体制や質問しやすい環境が整っていることで、確実に成長できていると感じています」

— **仕事にやりがいを感じる瞬間は？**

「お客様の要望に応えた後、笑顔でお礼を言っていたいた時ですね。お客様からうちの機械を使って作った野菜をお裾分けいただいたこともあるのですが、食べるのが『おいしい!!』って感じます(笑)。今までなんとなく野菜を食べていただけで、お客様のご苦労がわかる今は、就職する前と比べて、野菜の味が全然違うんですね」

— **仕事で一番大変だったことは？**

「農業は未経験なので機械も含めて初めて見るものばかりでした。オイル交換で失敗して入れすぎたとき「ちゃんと教育をしとらん」って怒られて、自分がとても悔しかったけど、その後信頼を取り戻せるまで一生懸命がんばりました。そのお客様は、今でもお付き合いをしてくださっています」

— **実現させたい夢はありますか？**

「自分の船を買うことです。海が好きだし、釣りが趣味なので、いつか自分の船が欲しくて、高いのは数千万円なのですが、どうせ買うならいいのを買いたいのので頑張って貯金しています。来年ぐらいには買えそう。嘘です(笑)」

— **あなたにとって、「仕事」ってどんな存在ですか？**

「モノやサービスを通じて、お客様に感動を与えることだと思います。お客様にとって、僕は孫くらいの年齢だったりするし、僕が生まれる前に製造されたキセキの農機を大切に使い続けてくださっているお客さん多いんです。だから頑張って勉強してご要望にお応えし、「なんか困ったらこの子に言おう」「やっぱり助かるわ」って言われた時はとてもうれしいですね」



農に寄り添い、支える  
ともに耕す、食の未来

最も重要な基幹産業の一つ、農業。それを成り立たせている農業機械を通じて、中四国地域の農家と消費者とをつないでいるのが、「ISEKI Japan」だ。業界屈指の技術力を誇る「井関農機」の地域販売ネットワークの一つとして、安心・安全、持続可能な「農」を縁の下の力持ちとして支えている。担い手の高齢化や人手不足、自然災害対応や獣害対策など、現代の農業を取り巻く課題はさまざま。そんななかで、「食」という暮らしの大切な部分

を担っている農家に寄り添い、ともに解決のために汗をかいている。新規就農者や農業に興味を持つ若い世代が増えている昨今は、若手社員の活躍への期待も高まる。地域社会で若い力をいかに発揮してもらうため、業務に必要な資格取得のサポートや、入社3年目までの若手社員の研修制度など、社内の教育制度もますます充実。農家とともに日本の未来を新しく開拓していく。そんなステージが、ここにはある。